

1. 本園の教育目標

幼児期にぜひ身につけて欲しい快活さ・大らかさ・のどかさ・好奇心を育て、自主的・協調性・創造性を伸ばしていく保育をキリスト教精神で行う。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
幼稚園の教育課程の編成・実施に関して、教職員間の共通理解をはか	新教育要領の理解を全教職員で積極的に推進し、それを実際の保育に添わせるように、具体的な場面について話し合いを行っている。
教育要領、教育課程、子どもの実態などを基に考えて作成している。	毎年指導計画に加筆、訂正を行い、子どもの実態に即した内容にするよう努めている。また、子どもの成長発達にあった保育内容となるように随時年間指導計画の見直しを行っている。
子どもの良さを認めて評価しようとしている。	一人ひとりの子どもの良さを保育者が認め、また園児同士がお互いの良さを認め合うことが出来るような配慮と援助に努め、そのことを保護者に伝えるようにしている。
遊びを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。	自分で工夫して遊び、それが発展して友だちと協力して遊べる環境を準備するようにしている。 運動遊びを充実し体力育成を図り、体を動かす楽しさを身につける。 体育遊びで身につけた活動を日々の保育の中に取り入れ体の各部分の成長発達に繋げる。
規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う。	登園から降園までの1日の流れの中で、身に付けてほしい生活習慣の獲得を立て促している。 特に食に対する意欲を育てる為に、職員間でよく話し合い年間を通しての個別計画取り組む。 散歩を通して、歩く事の楽しさを知り、体力向上に努める。
各研修会や研究会に積極的に参加する。	各研修会や研究会に参加して学んだことを資料にまとめ、職員間に提供し共有化を図り、保育内容の向上に努める。園内研修を実施する。
保護者に対して共感的な態度で接し、要望・苦情に適切な対応を図る	保護者との懇談会を定期的実施するとともに、出された意見に対して、必要なものには園の考え方を示し、改善すべきものは改善するように取り組んでいる。また、保護者が相談しやすいような関係を持つことが出来るよう努める。

4. 園の施設、設備、遊具等の安全点検

・遊具や設備及び避難用の滑り台については、安全を定期的に確認し、少しでも危険が予測される場合には速やかに改善している。
・火災、災害時の発生に際して園児、職員はじめ園内の人々の安全を確保するために、通報、安全確保、避難、保護等の方法を定期的に確認している。地震の際の避難方法を話し合い、各保育室に非常持ち出し袋を設置し非常食、水の備蓄を行う。
・新型コロナウイルス感染症対策として出入り口に消毒液・各クラスに空気清浄機を設置した。また、園児や教職員の手洗いの徹底・空間の確保・園内の消毒を行う。ようにしている。
・火災や地震の避難訓練を毎月1回実施する。また、防災頭巾を新園児が自ら素早く被ることが出来るようになるために、毎月の避難訓練の際に被るようにしている。

5. 今後取り組むべき課題

・食育教育では、給食を通して食に対する意欲を今後も育てられるように取り組む。、共にマナーについても指導する必要がある。個別に対応が必要な場合は保護者にも啓蒙する。
・災害時の避難経路、安全確保については様々な場面に対応できるように、さらに認識を深める必要がある。自分の身体を自分で守るという自覚を持ち素早く避難することを身につける。常に緊急時の情報収集に努める。
・保育室や教材の点検と補充を行う。
・満3歳児保育を2021年度より開始するにあたり、地域への周知を図る方法を考える。また、2021年4月よりより充実した園庭開放を行うにあたり業者を通しチラシを近隣に投函するなど周知に努める必要がある。

6. 学校関係者評価委員会の評価（令和3年3月21日実施）

学校関係者評価委員会構成	元大阪狭山市立第7小学校校長 学校法人堺キリスト学園理事 令和2年度開花幼稚園保護者会会長 開花幼稚園卒業生	花澤 光正 岡藤 さくら 加藤 諒吾
評価結果: 努力を行っており、適正である。		

7. 財務状況

公認会計士より適正に処理されていると報告を受けている。